



各位

平成28年10月28日

上場会社名 株式会社 小森コーポレーション  
 代表者名 代表取締役社長 持田 訓  
 (コード番号 6349 東証第1部)  
 問合せ責任者 取締役管理人事本部長 松野 浩一  
 (TEL 03-5608-7826)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	41,200	300	100	100	1円61銭
今回修正予想(B)	34,000	△ 2,000	△ 3,000	△ 3,500	△ 58円29銭
増減額(B-A)	△ 7,200	△ 2,300	△ 3,100	△ 3,600	
増減率(%)	△ 17.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	43,259	2,160	2,819	3,842	62円01銭

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	97,500	5,200	5,000	4,000	64円55銭
今回修正予想(B)	90,500	2,000	1,000	200	3円33銭
増減額(B-A)	△ 7,000	△ 3,200	△ 4,000	△ 3,800	
増減率(%)	△ 7.2	△ 61.5	△ 80.0	△ 95.0	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	95,326	6,612	6,508	6,522	105円26銭

修正の理由

(1)第2四半期累計業績

日本市場での前期の政府の省エネルギー設備導入補助金による需要増加の反動減が大きかったことや、海外市場では円高の進行により厳しい競争環境であったこと、特に中国市場では円高に加え、経済減速の影響により想定以上の需要の低迷が継続したことから、売上高は前回予想を大きく下回る見込みです。一方、利益面は売上高の大幅な減少により、営業利益では前回予想を下回り、さらに円高が進行したことから為替差損(約11億円)が発生し、経常利益は予想を大きく下回ることから、親会社株主に帰属する四半期純利益は純損失となる見込みです。

(2)通期累計業績

第3四半期以降は、売上高は引き続き中国市場における印刷機需要の回復の遅れが見込まれるものの、一方で国内市場で上期の補助金の反動も一巡し需要の伸びが期待できること、証券印刷機の売上高が下期に集中することから、計画どおり推移する見込みです。また利益面では、円高による海外勢との競争環境の悪化により販売価格の下落が見込まれることや、工場稼働率の低下により、当初想定した以上のコストアップとなりますが、一方で全社的に徹底した経費削減努力を継続することや、比較的利益率の高い証券印刷機の寄与により、親会社株主に帰属する当期純利益は利益を確保する見込みです。なお、第3四半期以降の想定為替レートは1米ドル100円(現行110円)、1ユーロ110円(現行120円)に変更いたします。

尚、配当予想については変更いたしません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上